

# たんぽぽワーク便り



第 2 号 令和 3 年 9 月 10 日発行  
社会福祉法人さつき福祉会  
たんぽぽワーク  
養父市八鹿町八鹿 1441  
Tel・Fax 079-662-0033

たんぽぽワーク便り第 2 号をお届けします。暑かった夏も終わり少し秋らしくなってきました。皆様には、いつも温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染が収まらない状況の中、利用者、職員とも 8 月末にコロナワクチンの接種が無事完了しました。利用者の皆さんも元気で作業や活動に取り組むことができます。さて今回は、たんぽぽワークでの作業内容をご紹介します。



## 「南但指定ごみ袋」製袋作業



たんぽぽワークは、地域の皆様がお家庭で使っている「南但指定ごみ袋」を作っています。ごみ袋の製袋は、さつき福祉会おおよ作業所が昭和 58 年から開始し、旧町の時から指定袋に取り組んでいました。そして新しくたんぽぽワークが新築され、それに伴って製袋機をおおよ作業所から移し、養父市のごみ袋すべてを担っています。自分たちが作ったごみ袋がお店で売られ、ごみに出されているのを見ると社会で役立っているなとうれしくなってきます。



機械で 1 枚ずつカットされ、たたまれて 10 枚ごとに出てきます。



10 枚、向きを間違えない様にきれいに袋に入れます。



枚数が間違っていないか計りでしっかりチェックをします。



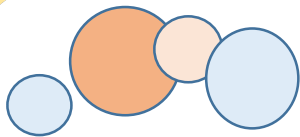
中の袋を挟まないようにハンドシーラーで丁寧に圧着します。



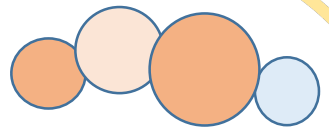
袋に汚れやゴミ、やぶれの不良がないか検品してから 50 冊を箱詰めして完成です。



養父市商工会に納品し、そこから各販売店で売られます。



# たんぽぽワーク 蚊帳ふきん



ふきんの取り組みは、昭和63年からごみ袋と同じおおよ作業所で始め、かれこれ33年。原反たたみからミシン縫い、袋入れと一人ひとりがやりがいを感じながら、ふきんを作っています。このふきんは、高級蚊帳生地を使用しており、蚊帳ふきんの良さを多くの皆さんに知っていただければと思います。



8枚重ねになるように折りたたみ、たたみのできが製品のできを左右します。

直線縫い、返し縫い、幅も整い、習得したミシンは自慢の腕前です。

インターミシンでふちを縫い、蚊帳ふきんの完成です。



完成したふきんをたたみ袋に入れます。

こうして、2枚入りたんぽぽふきんが完成です。

洗うほどにガーゼのようなやわらかさ、吸水性抜群です。



私たちは「一つ一つ責任を持ち丁寧な仕事を！」

モットーに取り組んでいます。



たんぽぽワークでの作業は、就労支援はもちろんですが、地域とのつながりも大切にしたい作業を通し、成長していけるよう努めています。次回は、こんにやく作り、下請け作業や施設外の作業をご紹介します。